

実用書式・ペン習字 選択の人へ 第4回目

美しい文字を書くために、そして正しい書式を知るためにこの講座はあります。
しつこいようですが(笑)、この課題に取り組む間だけ

○丁寧に書く

○納得がいかない文字は消して書き直す

は、心がけてください。

今回の課題は『ペン習字の基礎』石川芳雲著 P49 です。

『カタカナ』の『ア』～『ツ』

漢字の草書体で、曲線的だった平仮名とは対照的に、直線的で角がはっきりしているのがカタカナです。それは、漢字の一部分だけに省略されたからです。左払いにも着目しましょう。P4 の楷書の基本点画、下段の左払いのうち、左払い②と左払い③がよくつかわれます。直線的な左払い②は実線、曲線的な左払い③は点線でしめしておきましたので、今回の目当てとしてください。

用具は、鉛筆かシャープペンシルです。

今回は

- ① 一段目の手本には、2枚目のプリントを参考に上手く見えるポイントを赤で書き込む。
- ② 二段目はなぞり書き。
前回まで同様にはみださないこと。この時の気づきを大切に!!
- ③ 三段目は上の手本をよく見て丁寧に書く。

それ以上は、書きたくてもまだ書きすすめないでね。

*提出は、前回までのものも、すべてを学年の指示通りに、添付ファイルで送ってください。期限も守ってくださいね。現物は登校してからの授業でみせてもらいます。

9 カタカナ

(筆記用具)万年筆

平仮名は漢字の草書体から生まれたが、片仮名は、字源に由来する漢字の一部分で、直線的で角が鋭い。楷書(一画二画)は、筆の左に力を入れたら、線が左に曲る。すくうように、曲線的に描く。

カ	キ	ク	ケ	コ	カ
カ	キ	ク	ケ	コ	カ
		ク	ケ		
シ	チ	ツ	テ	ト	カ
シ	チ	ツ	テ	ト	カ
ツ	チ	ツ	テ	ト	カ
ツ	チ	ツ	テ	ト	カ

カタカナ

二画の二画の
方が左に